

戦後80年企画

わたしたちの 戦争体験記

今からおよそ80年前。南砺市福光であった「お茶の水学童疎開」をご存じですか？第二次世界大戦の末期、東京をはじめとする都市部では、毎夜空襲におびえる暮らしが続きました。そのような中、子どもたちを学校単位で地方へ避難させた「学童疎開」がありました。南砺市にも大勢の子どもたちが学童疎開しましたが、その中に、現在のお茶の水女子大学附属小学校の児童123名の姿もありました。子どもたちはどのような暮らしをしていたのか。受け入れた地域は、どのように接したのか、また、同世代の子どもたちはどんな気持ちで迎えたのか。当時の子どもたちが体験した戦争とは。その一端を、南砺市福光地域の事例から学んでみませんか？

～福光の「お茶の水学童疎開」から考える現在・過去・未来～

お茶の水学童疎開 絵日記展

7月22日（火）から

8月22日（金）まで

（土日祝日休館）

会場 旧福光高校1階会議室

時間 10:00～16:00

トークイベント

8月9日（土）午前10:30 から

会場 旧福光高校1階会議室

1. 「お茶の水学童疎開の概要」吉田英文 AOIKE高等学院
南砺福光キャンパス長
2. 「学童疎開受け入れについて」石黒雅臣、容子 元石黒医院
3. 「学童疎開を学ぶ意義」岡田了祐 富山大学教育学部准教授
4. トークセッション



お問い合わせ
AOIKE高等学院南砺福光
電話：090-1077-2871
南砺市政策推進課
電話：0763-23-2052